

キーワード 国際開発、国際ビジネス、農業、キャッサバ芋、タピオカ



ブラジルの農業開発、キャッサバ芋やタピオカの生産・流通・食文化

▶▶▶ 地域経営学科 教授 光安アパレシダ光江

1 - 研究紹介

・研究内容

現在の研究活動:

- ーブラジル農業開発及びアマゾンの森林伐採における研究
- ー日本でのキャッサバ芋生産・流通の研究・調査

2 - 産学官連携事業

産学官連携: キャッサバ芋の栽培やブラジル風キャッサバ料理やタピオカについて公的機関、学校、企業などに紹介をし、ゼミ活動を通して、様々なコラボレーションを行うことができます。

ゼミ活動の一環として、「浜松市と大学との連携事業、大学生による講座」に参加し、浜松市内の様々な協働センターでキャッサバ芋料理・タピオカやブラジル食文化について紹介しました。

また、キャッサバ芋の栽培について高台協働センター(土壌栽培)や株式会社JTECとのコラボレーションを行いました。(キャッサバ芋の袋培地栽培)(冊子を参照)

キャッサバ芋は色々な可能性があり、SDGsにも貢献できる作物である。自給率が低い日本ではメージャな作物になり、日本人の好みに合わせた新しい食文化の誕生も可能ではないか。

2023年度: 「浜松市と大学との連携事業、大学生による講座」 ブラジル風クレピオカをつくろう!
可美協働センター2024年1月27日(土) (浜松ケーブルテレビ取材・撮影がありました)

3 - 事例紹介

